

毎年恒例! “走る”誌上オートサロン!!

IMPUL

新作マシン速攻試乗



レポーターは橋本洋平!



IMPUL仕立ての
キャラバンがついに登場!

2012年のリーフ、セレナ、エクストレイルに続き、ノートとキャラバンのカスタムモデルをリリースしたインパル。この2台をいかにカッコ良く、速く仕立て直したのか、徹底的にチェックしていく!

■文: 橋本洋平 ■写真: 小平 寛/原田 淳



インパルの動きから
今年も目が離せない!

年の初めのビッグイベント、東京オートサロン。その一角に大手タイヤメーカーに匹敵する規模のブースを構えていたのがインパルだ。そこにはところ狭しと8台のカスタムカーが展示されていた。今回はそのうちの2台、インパルノートとインパルキャラバン。この両車を公道で試し、その仕上がり具合をレポートする。

もうひとつ、インパルの展示車の中で気になる点があった。それはインフィニティの大型SUVのFXとQXが展示されていたこと。実はこれ、インパルの次なる戦略の象徴でもある。それではカスタムカーの走りを中心にインパルの魅力をたっぷりりとご覧に入れよう!

(H A編集部)



▲オートサロン会場に設営されたインパルのブース。今回試乗したノートやキャラバンを含む全8台の車両を展示した

▼左右に大きく張り出したリアバンパースポイラーは純正のバンパーに装着するハーフタイプだ



▶大型のリアウイングはバックドア上部の2カ所で固定。さらにリアガラスにも足を接着することで安定感を出している



◀心地良い重低音を発するオールステンレスのブラストIIマフラーは6万3000円と、コストパフォーマンスも高い



▲大胆なエアロパーツは違和感なくマッチ。スポーツスプリングでフロント約25mm、リア約20mmずつ車高をダウンしてある

違和感ゼロのエアロはインバルだから作れる

低燃費でシンプル、コンパクトだけれどプレミアムであること狙ったノートは、ノーマル状態では、おとなしいクルマ、といった印象が強い。だが、このクルマを見て欲しい。あの穏やかだったノートが豹変したかのようなヤンチャなスタイルになっている。これぞチューニングカーの醍醐味。日産車を知り尽くしたインバルの仕事はやり違うと唸ってしまう。

今回インバルが行ったノートに対するアブローチは、ズバリ「男らしさ」を備えること。フロントまわりの開口部はフロントグリルとフルバンパースポイラーによってグッと広げられ、さらに下部を広げるようなスタイルとすることで安定感を増した印象を持つ。

中でも特徴的なのがグリルまわり。ノート特有の形状のヘッドライトと絶妙なマッチングを見せている部分だ。もしや日産がホットモデルを開発したのか!?と錯覚するほど自然だ。

サイドやリアはフロントが下部に広げたラインを踏襲するように形成。リアに関してはハーフスポイラーとなるが、違和感なく収められている。ワイド感と安定感が高まると同時に、デ

イフューザー形状を持たせることでスポーティに演出している。ちなみに細部ではあるがリアの開口部の中はメッシュがあらわれている。こうした細かい作り込みが、インバルの質感の高さにつながっているのだ。

だが、エアロパーツに対するアブローチはそれだけに終わらない。なんとリアハッチ上部には大型のスポイラーが鎮座しているのだ。これは形状が独特で、ガラス面に対してわざと足を伸ばす形状とすることで、迫力を増している。ちなみにここまで大きいスポイラーを装着しながらも、ドライバーズシートからの後方視界はノーマルと変わらず。使い勝手を犠牲にしていいるところは素晴らしい。

こうして肉食系なルックスを手に入れたインバル・ノート。今回はそれに見合った内面も備えているところが見所だ。

エンジンチューン後が楽しみになる足まわり

まず注目しておきたいのはフットワーク系に対するマジメすぎるアブローチだ。タイヤは前後とも17インチ化され、タイヤは205/45R17サイズのポテンザS001を装着。標準が14or15インチだったことを考えると大幅なアップだ。

だが、それに見合うように足

IMPUL

インパル ノート



▲ノートにもスポーツダクトを設定。こちらはフェンダーへの穴空けが不要で手軽に取り付けられる

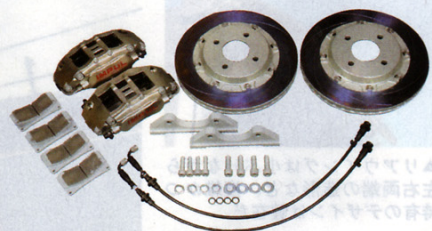


“ちびマツチョ”に変身! 走りはまさにボーイズレーサー!!

▶LEDを仕込んだイルミネーションエンブレムもオプションとして設定している



▶ホイールは17インチの Racing Aura SR-08 (カラー：ブラック+ポリッシュ) を装着。タイヤサイズは205 / 45 R 17



◆インパル ノート パーツ一覧(○は撮影車両装着パーツ)

○エアロダイナミクスシステム5点キット:24万1500円(単体価格…フロントバンパーボイラー:6万900円 / フロントグリル:3万9900円 / サイドステップ:5万400円 / リアハーフスポイラー:5万400円 / リアウイング:6万900円・各未塗装) ○イルミネーションエンブレム:1万3440円 ○エアロサイドバイザー:2万6250円 ○スポーツダクト(メッキ仕様):3万1290円 ○エクストラパワーキット:25万8300円・純正品の下取りありの場合は15万1200円(単体価格…ハイパワーコントロールユニット:15万5400円・純正品の下取りありの場合は10万2900円 / パワースロットルバルブ:11万3400円・純正品の下取りありの場合は6万900円) ○ブラストIIマフラー (2WD):6万3000円 ○コイルスプリング (2WD):3万9900円 ○インパルブレーキシステム:32万7600円 ○チームインパル RACING Aura SR-08:3万5700円 / 1本 ●ブレーキパッドDATA-G (2WD)・フロント用:1万9950円 ●インパルオーリンズスーパーショック (2WD):30万2400円



▶試乗車には専用のコイルスプリングを装着。このほかに、インパルオリジナルのショックアブソーバーも用意されている

▲インパルブレーキシステムは、鍛造アルミをボディに使用したキャリパーや放熱性に優れたブレーキディスクなどで構成される

▶エンジンのパワーとレスポンスをバランスよくアップさせるハイパワーコントロールユニット (左) とパワースロットルバルブ (右) は、エクストラパワーキット (セット) で購入するのがオススメ



がりを展開していたのである。

ノートは、ルックスから中身までまさにイメージどおりの仕上がり。

往年のボーイズレーサー復活か!? なんて思えたインパル・ノートは、ルックスから中身までまさにイメージどおりの仕上がり。

往年のボーイズレーサー復活か!? なんて思えたインパル・ノートは、ルックスから中身までまさにイメージどおりの仕上がり。

高速道路に入り、ループで加速してみると、フットワーク系の威力を存分に味わえた。無駄なロールやピッチングが皆無で一体感がある。コーナリングスピードも高く感心した。

往年のボーイズレーサー復活か!? なんて思えたインパル・ノートは、ルックスから中身までまさにイメージどおりの仕上がり。

往年のボーイズレーサー復活か!? なんて思えたインパル・ノートは、ルックスから中身までまさにイメージどおりの仕上がり。

往年のボーイズレーサー復活か!? なんて思えたインパル・ノートは、ルックスから中身までまさにイメージどおりの仕上がり。

まわりは、フロントブレーキについては6ポット2ピストローターのインパルブレーキシステムを装着。また、車高調整が可能なインパルオーリンズスーパーショックも用意している。

一方、パワー系については現在スロットルバルブやコンピュータを開発中。撮影時にはマフラー交換のみに留められていた。そんなインパル・ノートを走らせると、まず驚くのはブレーキペダルのタッチがかなり力強いことだ。足首のわずかなスナップで踏力をきちんとコントロールできるそれは、タウンスピードでの減速でもスポーツテイスト満点! これは期待できそう。